

# 破傷風の実験室診断について

熊本保健科学大学  
生物毒素・抗毒素共同研究講座  
高橋元秀

本講座では、破傷風の実験室診断検査法の開発を行っており、破傷風の各種検査を実施しております。検査をご希望の場合は下記の要領でご依頼ください。ご不明な点はお問い合わせください。

【検査項目】本講座では下記の検査項目を実施することができます。

- #1. 遺伝子検査 (qPCR による破傷風毒素遺伝子および菌体遺伝子を検出します)
- #2. 破傷風菌の分離・同定
- #3. 破傷風毒素検査 (ELISA 法にて血清中の破傷風毒素を検出します)
- #4. 抗破傷風毒素抗体検査 (ELISA 法およびイムノクロマト法にて血清中の抗体を検出します)

【検査材料および保存方法】

検査項目	#1. 遺伝子検査 #2. 破傷風菌の分離・同定	#3. 破傷風毒素検査 #4. 抗破傷風毒素抗体検査※1
検体採取	破傷風トキソイドおよび抗破傷風人免疫グロブリン投与前に採取してください。	採血 (抗凝固剤なし)
検査材料 ※2	①傷口のデブリドーマン実施洗浄液、切除した組織片、汚物 (除去した異物) 使用後のガーゼなど ②瘡蓋	血清 約 2mL
保存方法	清潔な試験管やジップロックなどの適当な容器に入れて、冷蔵してください。 	清潔な試験管などの容器に入れて下さい。 1, 2 日の場合は冷蔵でも構いませんが、保存期間が長くなる場合は冷凍してください。

※1 破傷風毒素抗体検査では、破傷風トキソイドおよび抗破傷風人免疫グロブリン投与前に採取した血清ではワクチン接種の有無を知ることが可能です。また、抗破傷風人免疫グロブリン投与後の血清では投与した抗破傷風人免疫グロブリンの効果を確認することができます。

※2 検査終了後の検査材料については、すべて当講座にて廃棄いたします。

【検査費用】診療支援の場合は、検査費用は無料ですが、搬送費用は依頼者負担でお願いいたします。

【搬送先およびお問い合わせ先】依頼書を添付の上、検査材料を搬送してください。

〒861-5598 熊本県熊本市北区和泉町 325  
熊本保健科学大学  
生物毒素・抗毒素共同研究講座  
高橋元秀  
TEL:(096) 275-2160  
E-mail:takahashi@kumamoto-hsu.ac.jp